

6 おわりに

恵那市学校保健会では、学校、家庭、地域・関係団体が連携を図りながら取り組む中で、新たな連携が生まれている。それにより、子どもたちを取り巻く大人の輪が広がり、より実態に応じた指導ができるようになってきている。

本研究を通して、学校保健活動における連携の重要性を再認識することができたとともに、今後も、進んで健康な生活を営む児童生徒の育成に向け、学校、家庭、地域・関係団体が連携を図りながら取り組んでいきたい。

恵那市学校保健会全体構想

恵那市の教育

【恵那市の願う子どもの姿】
自分と人とふるさとを愛する恵那の子
【つきたい力】
主体性 社会性 郷土愛
【指導の方針】
○規律と対話のある教育
○一人一人に確かな学力の身に付く授業
○郷土に根ざし、郷土を生かした特色ある教育

【健康教育の方針】

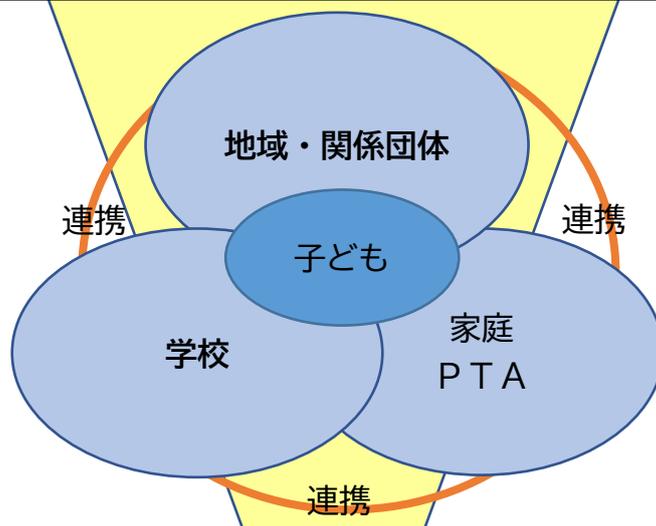
進んで健康な生活を営む態度を育てる

【恵那市の学校保健の課題】

- ・健康に対する関心をもつ。
- ・基本的な生活習慣を確立する。
- ・自己管理能力を高める。
- ・主体的に健康で安全な自らの生活を創り出す。

大会テーマ **新しい時代を生き抜く力を育む**
～子どもを取りまく大人の連携～

研究テーマ **進んで健康な生活を営む児童生徒の育成**
～学校・家庭・関係団体の連携を図りながら～



【子どもの実態】

- ・管理表をもつ子どもの数が小学校ではやや増加傾向にある。 (アレルギー)
- ・小5で LDL コレステロールが基準値より 10.8%の児童が高い。 (生活習慣病)
- ・恵那市の DMF 指数の平均は、県より低く良好な状態が保たれている。 (歯科保健)
- ・朝ご飯を毎日食べる子がほとんどだが、内容については十分でない家庭が多い。 (生活習慣)
- ・野菜栽培等、食に関する体験学習などにより、食への興味が高まってきている。 (食育)
- ・発達相談件数が年々増え、要支援児が増加している。 (特別支援)